



平成23年3月4日

各位

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
 代表者 代表取締役 社長執行役員 重松 理
 (コード番号 7606)
 問合せ先責任者 計画管理室長 丹 智司
 (TEL 03-5785-6637)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月5日に公表した通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想および平成22年5月11日に公表した期末配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 90,612 | 6,409 | 6,338 | 2,283 | 53.46 |
| 今回発表予想(B) | 92,146 | 7,324 | 7,188 | 3,543 | 94.82 |
| 増減額(B-A) | 1,534 | 914 | 849 | 1,259 | |
| 増減率(%) | 1.7 | 14.3 | 13.4 | 55.2 | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 83,504 | 4,942 | 5,037 | 1,403 | 33.26 |

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 84,788 | 6,589 | 6,588 | 2,723 | 63.74 |
| 今回発表予想(B) | 86,350 | 7,117 | 7,018 | 2,980 | 79.76 |
| 増減額(B-A) | 1,561 | 527 | 430 | 257 | |
| 増減率(%) | 1.8 | 8.0 | 6.5 | 9.5 | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 78,657 | 5,792 | 5,943 | 2,011 | 47.65 |

修正の理由

【個別業績について】

売上高につきましては、秋冬商戦において主力事業の小売新店および既存店が順調に推移いたしました。売上総利益につきましては、商品の調達・生産～店頭への投入～消化活動の業務精度が向上し、仕入原価率の低減、値引きロス率が改善するなど、計画を上回って推移いたしました。販売費及び一般管理費は主に宣伝販促を強化する一方で、全体的にはコスト効率を高めました。
 以上により、営業利益以下の各利益は予想を上回り着地する見通しです。

【連結業績について】

連結子会社も堅調に推移しており、連結経常利益段階までは個別業績同様の概況となる見通しです。連結当期純利益につきましては、当社は、平成22年4月23日付で、子会社である株式会社ペレニアル ユナイテッドアローズ(以下「ペレニアル」)を解散することを決議し、平成22年11月に清算終了予定であることを発表しておりました。しかしながら、ディベロッパーとの退店交渉など清算手続が予定通りに進まないことも想定されたため、平成22年8月5日発表の平成23年3月期通期の業績予想の修正には、ペレニアルの清算終了を織り込まず、保守的に計画しておりました。

平成22年12月末のペレニアルの清算終了に伴い、平成23年3月期第3四半期連結会計期間において当社の貸倒損失が確定したことにより、前期に計上していた繰延税金資産を取り崩すこととなったため、連結当期純利益は予想を上回り着地する見通しです。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (平成22年5月11日発表) | — | — | — | 16.00 | 26.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 19.00 | 29.00 |
| 当期実績 | — | 10.00 | — | | |
| 前期(平成22年3月期)実績 | — | 10.00 | — | 18.00 | 28.00 |

前期(平成22年3月期)実績の期末配当18円には、創業20周年記念配当3円を含みます。

修正の理由

当社は、配当に関する基本方針として、単年度の利益水準に関わらず安定的な配当を実施するため、株主資本配当率(DOE)基準を導入し、連結DOE4.5%前後を目標に配当金額を決定しております。平成23年3月期の利益配当金については、中間配当金:1株につき10円、期末配当金:同16円、年間配当金:同26円(予想連結配当性向48.89%、予想連結DOE4.47%)を予定しておりました。

しかしながら、当社は平成22年10月7日付で自己株式10,700,000株を10,700百万円にて取得し、平成23年2月末時点で発行済株式の総数のうち、11,254,380株を自己株式として保有しております。このため、配当金額を決定するための前提となる株主資本に著しい変動が生じておりますが、連結業績が平成22年5月11日に発表した業績予想を上回ることとなりましたので、期末配当予想を平成22年5月11日に発表した16円からさらに3円増配し、19円といたします。これにより、年間配当金を1株当たり29円に修正いたします。

(注記)

上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は状況の変化によって予想数値と異なる場合があります。

以 上